

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

観光分野で「ダークツーリズム」への関心が高まっている。フリー百科事典「ウィキペディア」では「ダークツーリズムを災害被災

跡地、戦争跡地など、人類の死や悲しみを対象にした観光と定義している。観光とは一般に娯楽性のあるレジャーの1つだが、ダークツーリズムでは、学びの手段として捉え、世界各地の戦跡慰霊碑、津波や震災の被災地、事故現場、大量虐殺のあった場所などを大勢の皆さんが、該当の地を訪ねている。

今回、負の遺産で、心の傷が癒えてない関係者が存在すると思うがこの視点から地域を考えてみた。神城断層被災地の復興での提案だ。大規模地震にもか

かわらず、地域防災計画に基づくと住民協働対応で、一人の死亡者も出さず「奇跡の復興」として、多くの情報が発信された。関係者から取り組みの講演依頼が寄せられた。東北

の人がいる事も事実だ。実際、計画の段になると、被災箇所や案内していい所、案内してはいけない所。予定した期日に、案内人を誰に依頼できるのか？概要の説明場所の選定と依頼は、視察目的の

地域事情に詳しい者が関われば、地域内施設での、昼食や、案内人等の手配、拡大すれば、被災者の体験談での宿泊誘導にもつなげるのではないのだろうか。

元できないとの山岳関係者の声も聞こえてくる。登山道の機能を失った時の、大雪渓をどうすべきかの論議の中でダークツーリズムの考えが組み込まないのだろうか。あらゆる

今回、負の遺産で、心の傷が癒えてない関係者が存在すると思うがこの視点から地域を考えてみた。神城断層被災地の復興での提案だ。大規模地震にもか

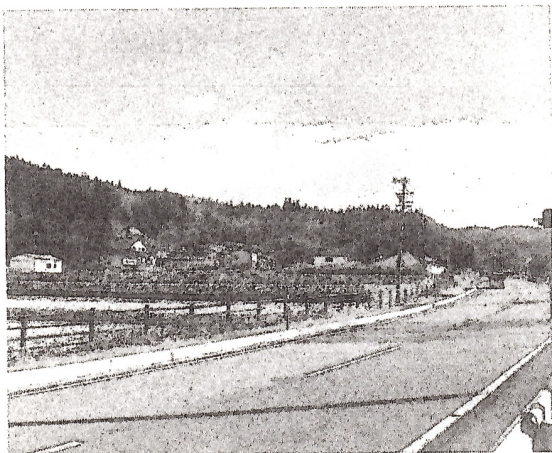
地震以降、熊本大地震をはじめ地震災害が続き、今後の大地震の予見が発表され全国各地で自主防災への関心が深まっている事も事実だ。しかし被災現地を独自の計画で訪問する手立てを持たない多く

内容を、実現できるのか？その折に、地域に還元できる企画など課題も多い。これらを網羅した、視察研修内容が旅行商品となるのではと考えてみた。被災地に人を呼び込む事には、問題も多いが、

大雪渓ルートが融雪等により閉鎖された。大雪渓は、何万年での降雪の積み重ねられた雪の層。大雪渓上部からの雨水が直接流入を重ね、豪雨の折には、大雪渓全体を押し上げ、温暖化と思われる融雪が続くなど。元の状態には、復

## ダークツーリズム観光について興味を持ってみませんか

して有名な大雪渓ルートが融雪等により閉鎖



多くの地域で災害が想定される中、「明るく活き活き」地域を守る姿を伝える事は大切だ

事を想定して、観光で営む地域が継続できないか考える事は、無駄ではないだろう。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)